

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム徳ちゃん

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 4 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者個々に応じた言葉遣いと対応を今一度振り返り、理念にある「～その人らしく、生き生きと～」に繋がるよう職員で話し合うことが必要。	一人ひとりの人格を尊重した言葉遣いと対応をする。 年長者としての誇りやプライバシーを尊重する。 入居者が、おだやかに、その人らしく、生き生きと暮らしていただけるよう努力する。	入居者に対する言葉遣いに注意する。 入居者に対して傷つけるような言葉遣いがあった場合は、ヒヤリハットに記し、全員で検討する。 個人の人格を尊重し、生き生きと暮らしていただけるよう対応する。	1ヶ月
2	11	PDCAサイクルを上手く繋げるためには、気づいた事の詳細を個人記録に掲載する事が必要であり、職員の意見をもっと深く掘り下げ、入居者個々に応じた支援に繋がるようにする。	入居者の担当を決め観察をし、意見を出し合っ てPDCAサイクルに繋げることで、一人ひとりを 尊重した支援をする。	職員は、入居者の担当を決めているが継続する PDCAサイクルを全員で学び検討する。 一人ひとりの記録を密に行い、意見交換する。 評価を全職員で行い、個々に応じた支援が出来るよう 努める。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。